【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」

学校だより　堂崎っ子

第 16 号
令和 8 年 10 月 20 日
南島原市立堂崎小学校
校　長　　末吉　優

昼休みの光景……男女問わず、異学年での遊び



ある昼休みの光景です。 滑り台やブランコなどの遊具遊び、鬼ごっこ、サッカー、ドッジボールなどが主な遊びですが、いずれも異学年での遊びが展開されています。最近は、大谷グローブを使ったキャッチボールなども見られます。

その中で、低学年と中学年の児童が朝礼台を利用して、腕相撲を行っているグループがありましたので、撮影しました。

男女問わず、異学年での遊びは、いつ見ても微笑ましい光景です。

南島原市子どもメディア未来会議より　【10月12日（月・祝：スポーツの日）】



約20名の保護者と児童生徒の皆さんが参加され、「南島原市子どもメディア未来会議」が開催されました。「ゲーム・動画・SNSのよりよい使い方を考えよう!」というテーマで、長崎県メディア安全指導員の山本 博美 先生の講話・ワークショップが開催されました。子どもと保護者が様々なデジタルメディア（スマートフォン、SNS、ゲームなど）について考え、有意義な時間となりました。

◇　ネットの便利な使い方

・楽しみが広がる　・自分の意見や作品を発表できる　・勉強に利用できる
・障害のある人の行動範囲が広がる

一方で、信憑性（しんぴょうせい）や真意の確認が必要であることが確認されました。

◇　「情報リテラシー」　を必要とする。

相手は信頼できる人？　公式な発信？　他の記事と比べた？　確かな事実？　誰かの意見？

◇　ゲーム・動画・SNSを「5分だけのつもりが」、気付けば3時間!?

睡眠不足になる、勉強に集中できない、運動や遊ぶ時間が減る　などとなり、時間は取り戻すことができない。

ゲームや動画、SNSが悪いのではなく、「時間の使い方」が大切。

◇　なぜ、止まらなくなるの？

ゲームや動画、SNSは「もっと見たい」「もっとやりたい」と思うように作られている。

（ゲーム ： レベルアップや やりこみ要素、 SNS ：「いいね」やコメント、 動画 ： おすすめや自動再生）

◇　身体への影響（睡眠不足）。 目が疲れる・視力の低下、肩こり・頭痛・姿勢の悪化、運動不足・体力の低下

◇　脳への影響 ： 成長期の脳にブレーキがかかる。

子供の脳は今、一生で一番大事な「成長期」。長時間のネットは、その大切な成長を奪っている。

脳の発達には睡眠が大事。（寝る1時間前にはネットやスマホの終了を）

◇　依存症（ゲーム障害）…… 依存のサイン

☐ 使っている時間がどんどん長くなる　☐ 使えないとイライラする　☐ やめるときに強いストレスを感じる
☐ 勉強や運動、友達との時間より動画を優先してしまう　☐ 夜遅くまで使ってしまい、寝不足になる

◇　画像や動画のルール（勝手に撮らない。勝手に載せない）　投稿する前に10秒チェック

☐ 家族に見られても大丈夫？　☐ 先生や将来の自分が見ても大丈夫？
☐ 相手が嫌な気持ちにならない？

◇　困ったときに、一人で悩まない　→　信頼できる大人に相談

・悪口を書かれた　・知らない人から連絡が来た　・課金してしまった

◇　子供は「自分の心と身体を守るために。 保護者は「子供の心と身体を守るために」



＜大ホールでのe-Sports大会＞

2年生生活科　まちの公共施設を見学しました




10月14日（水）有家図書館見学

以前にもお知らせしましたように、毎週月曜日は、図書支援員の ○○ ○○ 先生に来校いただき、堂崎小学校図書館の環境整備、修理等をお願いしています。

今回の見学では、まず図書館の役割についてお話しいただき、資料の貸出・返却、蔵書の整理、読み聞かせ活動、地域資料の収集など、多岐にわたる業務を知ることができました。子供たちは、図書館が「本を借りる場所」だけではなく、地域の学びや文化を支える大切な拠点であることに気付いた様子でした。

館内案内では、児童書コーナーや郷土資料コーナー、閲覧スペースなどを見学し、職員の方が利用者の年齢や目的に応じて環境を整えている（床の色で児童書・一般図書のコーナーを分けている）ことを学びました。また、図書の並べ方や分類の仕組みについて説明を受け、子供たちは「本が探しやすいように工夫されているんだ」と興味深く耳を傾けていました。

今回の見学をとおして、公共施設を大切に利用する態度や、読書を通じて学びを広げる姿勢が育まれたことと感じています。

ご協力いただいた有家図書館の皆様に、心より感謝申し上げます。



＜図書館の掲示　ハロウィーン Ver＞


＜図書支援員 ○○先生＞

５年家庭科「エプロンづくり」学習支援　【 10月８日（木）・15日（木）】




５年生の学習支援（家庭科：エプロンづくり）として、民生委員や保護者の皆様（5～6名）が来校してくださいました。

子供たちは、「ミシンの使い方、糸の通し方を教えてもらって助かった。」「エプロンづくりがスムーズにできて、学習が楽しかった。」と感想を述べていました。

学習支援の皆様と子供たちの弾む会話と双方の笑顔が印象的でした。今後22日（木）も予定されています。

入賞者の紹介　入賞おめでとう！　＜令和８年度 有家地区青少年健全育成標語審査＞

３年生以上が、標語作成に取り組みました。児童は、しっかりと自分を見つめながら、家族・地域の方々・友達等の周りの人々に目を向けていました。審査会の中で、見事入賞した標語を紹介します。

３年の部	さん	「手伝うよ　こまったときは　たよってね」
	さん	「友だちに　いつもあいさつ　元気よく」
４年の部	さん	「みんなで　言葉のキャッチボール　うれしいな」
	さん	「いつまでも　ずっとつづけよう　思いやり」
５年の部	さん	「こまってる　元気ない人　『だいじょうぶ』」
	さん	「ありがとう　そこから広がる　笑顔の輪」
	さん	「ごめんねの　勇気でつなぐ　差別のない世界」
６年の部	さん	「つなごうよ　やさしい言葉と　思いやり」
	さん	「友達の　笑顔をふやす　自分から」
	さん	「抱えずに　話してみよう　友達に」

